

# 美ぎ島の恵み

沖縄県中小企業家同友会 宮古支部広報紙  
令和2年9月10日発行  
編集担当：広報委員  
Meteor Color 天の川智子  
株りっぶる 福原恵津子



アートタイトル  
「ニライカナイからの贈り物」

## ●今号のメッセージ●

船はあらゆる物を運びます。生命、命を運ぶことを「運命」と言います。変えることができない「生まれつき宿っている命」である宿命とは違い「運ぶ命」＝運命は、自らがあらゆる物事を動かし経験を積み重ねていく道で「自分の力で運ぶ」ことができます。どんな人と出会い、どんな経験をして、どのような仕事をして・・・運命は自分次第です。どのような人生を生きていくのか？「私という人生の旅」でどんな風景を見ていきたいのか？創造性を膨らませ実際に行動を起こすことで、船は進み流れ出します。行き着く場所は望み描く未来の結果となるでしょう。ニライカナイからの沢山の豊穡（才能、出会い、出来事）から幸福や祝福を満し「私という人生の船」を大きくし素晴らしい夢を運んでいきましょう。

## 【BCP（事業継続計画）セミナー】

令和2年7月18日

講師：株式会社東和 代表取締役 新城浩司さん 記事：株式会社シグマ 佐和田健一郎さん

JTA ドーム宮古島にて「島の企業が生き残るための戦略づくり」として、BCPへの理解を深める勉強会が行われました。正に今こそ必要とされるBCPの一端を学びました。「BCP」とは、日本語で「事業継続計画」と訳され、緊急事態に遭遇した場合に、事業の継続（もしくは早期復旧）を実現するための方法や手段を、平時から取り決めておく計画とされています。元々、台風被害の多発する宮古島において、どの企業でも必要性を認識しているテーマと言えます。また、現在進行形で新型コロナウイルス感染症という非常事態を受けており、喫緊の課題でもあります。学習会では、BCPの必要性や考え方を学ぶことができ、また、その策定にあたり必要となる情報の整理を行うことができました。学習会をきっかけに、これまで見ていなかったBCP策定への道筋が開けたように思います。



## 会員紹介

株式会社ひろし不動産  
代表取締役社長 砂川幸男さん

（記事：広報部 / Meteor Color 代表 天の川智子）

## 「地元密着！100年永続会社を目指す！」

1987年父親の創業から二代目を務め現在33年となり100年企業を目指されています。1990年に宮古島に戻り父親の会社に入った頃は、宮古島の不動産業者は5社程でしたが今や約10倍の約50社になっているとのこと。当初は、土地売買が主だったのが「賃貸の時代が来る！」ということで始まった賃貸業でしたが今では、部屋、一軒家、店舗、駐車場等を含む約1500件を管理しています。台風等の災害時は、営業時間外は勿論、管理している家屋を心配し、約1500件の生活の基盤をいつも気にかけて守っている・・・というお話をお聞きますと「宮古島の市民の生活を守って下さっている存在」でもあるのだと深く感謝が溢れました。近年の宮古バブルで、マンションなどが増え、賃貸のお客が増えることは嬉しい反面災害等の心配事に関しても比例するので、そのことへの気遣いは絶えないということです。

### 不動産業の喜びは？

土地売買の売り手と買い手、（賃貸ですと、貸し手と借り手）、それぞれの条件を満たし契約が成立する迄は、色々な苦労もありますが、そのプロセスを乗り越え成立出来た時、双方のお客様に喜んで頂いた時、とのこと。 (まるで、人生の重要な場面での結婚式の仲人さんのような役割ですね)

### コロナの影響は？

前期と比較すると、全体売り上げは約40%減収であり、大きなマイナス要因でした。コロナ禍の終息に向けて、自社のコロナ感染対策を万全にして行動していくことは当然ですが、自社の経営戦略の実践の方法を、じっくり見直し、今後の自社の新たな取り組みに繋げていくチャンスと捉えています。

### 同業他社との差別化としての強みは？

社歴33年、地域密着。宮古島の遺跡や拝所のこと、地域の歴史や伝統・文化について助言し、島の良さをお伝えすること、親身になり温かみのある対応を心掛けています。

### 宮古島にとって会社の存在は？

お客様、地域社会にゆるぎない信用を築き、最も必要とされる唯一無二の会社として100年永続会社を目指します。(経営理念ビジョン)  
また、島を守っていくこと、宮古島らしさ、島の良さを失わないよう、伝承していく企業でありたい。

起業されましたお父様に対する思いから、宮古島に対する思いへと、砂川社長のビジョンは大きく強くそして、島を愛する温かさを感じさせて頂きました。砂川社長、支部長、ありがとうございました。



## 【コロナ対策：株式会社東和】

(記事：代表取締役 新城浩司さん)

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、弊社では、社員を守り、事業活動を継続するため、様々な取り組みを実施し感染予防に取り組んでいます。

弊社の主力である整備業の現場では、リモートワークの実施が難しい。そのため、社内、特に工場での感染者の発生を防ぐため、マスクの着用や手洗い・手指消毒の励行は当然のこととして、知恵を絞って感染予防策を講じています。我々経営者がその責任を自覚し、しっかりと守るべきものを守る体制を構築することにより、更なる価値の向上と、地域に必要とされる企業づくりが可能となります。

- ① 店舗入口で沖縄県の感染防止対策徹底宣言の掲示
- ② コロナ対策フロー表の作成及びルールの強化
- ③ お客さまへのマスク着用のお願いの掲示
- ④ 社員マスク着用の義務化
- ⑤ 店頭でのアルコール消毒の設置
- ⑥ 接触感染防止の観点から、お客様の車両の除菌の実施
- ⑦ 飲み物提供の一時中止
- ⑧ 接触頻度が高い場所の消毒
- ⑨ 日々の検温報告(日報)
- ⑩ TV会議、Web会議の活用を促進
- ⑪ 挨拶、商用目的の来訪の受け入れを控える
- ⑫ 国内出張、海外出張の原則禁止
- ⑬ 社外イベント、会合等への参加を自粛、接待、懇親会等の自粛



6月22日に宮古支部における今年度最初の学習会を開催しました。近年多発する風水害や地震などの自然災害や、感染拡大が懸念される新型感染症(新型コロナウイルス)に対応するために「BCP(事業継続計画)とは何か?」を学び、自社のBCPを策定、緊急時にBCPを発動し、継続対策を推進する体制づくりを目指しました。企業にとって、災害、事故、事件等の対策は社員の安全や資産の保全の観点から必要ですが、BCPの考え方では、加えて、経営に与える影響を考慮し、取引先からの安定供給等の要求に応え、信頼を得ることも重要になります。BCPの取組を進めれば、その企業自身のメリットのほか、取引による連鎖的な影響も少なくなり、災害の間接的被害額を減らすことができます。また、企業価値の向上、企業の社会的責任への貢献、変化に強い企業体質への変革、事業の見直しの促進などにつながります。さらに、雇用の維持による社会不安軽減、取引停止による連鎖的影響抑制など、地域の経済・社会の安定につながることが期待できます。

我々経営者がその責任を自覚し、しっかりと守るべきものを守る体制を構築することにより、更なる価値の向上と、地域に必要とされる企業づくりが可能となると考えていますので、経営委員長として、このテーマの学習会を継続的に開催してまいります。



## 【コロナ対策：ホテルサザンコースト宮古島】

(記事：代表取締役 友利博明さん)

令和2年4月7日に政府より発出された緊急事態宣言を受け、島内への観光客が激減する中、4月25日から6月10日の期間で全館休館致しました。宮古島市観光関連部局や宮古島観光協会内の会員企業を中心に発足した「宮古島リカバリープロジェクト委員会」で作成された次の①～④の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを基に対策を実施しています。

- ① 職場における感染リスクをできるだけ低下させる
- ② 症状のある観光客や職員の健康管理を徹底し、早期に感染を把握する
- ③ 地域住民と観光客との接点をできるだけ減らす
- ④ 事業者ごとの自発的な取り組みを促進・支援する

具体的な対応としましては、ホテル入口にアルコール消毒液やフロントに非接触型体温計を設置し、お客様自身による感染対策や健康管理を求めるほか、エレベーターやトイレの定期的なアルコール消毒を実施しています。また、レストランでの朝食バイキングを中止し、お食事をあらかじめ盛り付けたプレート形式での提供方法に変更や、連泊のお客様の客室清掃の回数を減らすなどお客様にご不便をおかけしながら対応しております。様々な業種で、アフターコロナ、ウィズコロナへの対応が続くと思いますが、お客様と社員の安全の両立のためにしっかり対策をしていきましょう。



## 【コロナ対策：社会福祉法人 みやこ福祉会 障害者就業・生活支援センターみやこ】

(記事：所長兼主任就業支援員 神里裕丈さん)

当法人は、障害のある方の通所事業、グループホーム(居住)事業を運営しておりますが、新型コロナウイルスに対し、利用者の皆さま、職員一同、一人でも感染してしまうとたちまちクラスターになりかねないという緊張感と戦っております。

その対策として、とにかくマスクと手洗い、ソーシャルディスタンスの確保の徹底に努めております。中には、マスクに慣れておらず、すぐにはずしてしまう方、手洗いに声かけが必要な方、他者との距離感を保つのが苦手(⇔スキンシップ大好き!)な方もいらっしゃいますが、学習会や日頃の声かけなどの徹底により、利用者の皆さまにも予防を継続していただいているところです。また、ご家族にも文書や日頃の連絡等にて、出勤前の検温やマスク持参、渡航時のご協力もいただいているところです。

それでもマスクがどうしてもできない方もいらっしゃいます。「だから出勤停止」ではなく「それでも出勤しよう!」と、できない方にも配慮しながらも日々通える場所として維持できるように努めているところです。頑張るだけではなく、どうせなら楽しもうと機関誌による情報発信や春ごろにはマスクコレクションとして手作りマスクを楽しんだりしております。多くの新発見、取り組みもできております。「いつ誰がどうなるのか分からない」という社会全体が不安に陥っている中だからこそ、一辺倒の対策や理解だけではなく、社会全体で個別的な多様性を認めつつ必要な配慮、対処ができるかを考える良い機会かとも思います。皆で乗り切らなきゃいけないこの状況、まだまだ注意が必要ですが、コロナ渦でできることにチャレンジしていきましょう。



# 【新会員紹介&コロナ対策】

(記事：株式会社ツアーバンクシステム 宮古島支店 屋野 亮さん)  
紹介者：株式会社 KTS コーポレーション 砂川淳一さん  
農事組合法人まるごと宮古島 上地和彦さん

## 【会社概要】

株式会社ツアーバンクシステム 宮古島支店 <http://www.tbs-j.com>  
〒906-0015 沖縄県宮古島市平良字久貝 1035-1 島尻ハイツ 2-A  
TEL：0980-73-3021 FAX：0980-73-3031

## <業務概要>

リゾートウェディング撮影ならお任せ下さい。  
業務用ビデオカメラでの撮影、一眼レフカメラでのムービー撮影。風景素材収録。  
ビデオ撮影はもちろん写真撮影も行っております。  
撮影から編集まで何でもご相談ください。

## <事業内容>

リゾートウェディング写真撮影 リゾートウェディング映像撮影  
幼稚園・保育園行事撮影 各種イベント撮影 等



## 【With コロナ時代にできること】

株式会社ツアーバンクシステムは 2008 年 10 月に宮古島支店を設置しました。設置当初は宮古島の観光業も好調でリゾートウェディング撮影を中心にサービスを提供。そのノウハウを活かして、2020 年 3 月には宮古島で初めてとなる農業用ドローンを導入し、実際にサトウキビ畑でドローンを飛ばして性能を披露。参加した農家の関心を集めるも、直後にコロナ禍の影響を受け 5 月から休業中。雇用調整助成金等を活用し、雇用を維持。コロナ収束後も宮古島の可能性が十分あることから、大阪にある本社からは議論なしの存続一択となりました。

with コロナ時代が到来し、これから、しばらくの間は、このコロナとともに生きていかなければならなくなった私たちにとって、同社の強みを活かしたビジネスを提供していきます。非接触型商品では、瞬時に顔認証を行い検温スクリーニングする機器やアルコールディスペンサーを提供中。インターネット回線を活用したサービスは、宮古島にいなくても映像や音声をリアルタイムで配信するウェディングのライブストリーミングや宿泊施設や観光施設などの雰囲気疑似体験ができる webVR（バーチャル・リアリティとは、現物・実物（オリジナル）ではないが機能としての本質は同じであるような環境を、ユーザの五感を含む感覚を刺激することにより理工学的に作り出す技術およびその体系）などのコンテンツ制作を提供していきます。

「ピンチはチャンス」といわれますが、「With コロナ」の状況の今がその時でしょう。厳しい時期は続くと言われますが、ちょっとした発想の転換が大きな成功に繋がるかもしれません。当社の強みである「リモート」がキーワードとなるビジネスや業務がニューノーマルとしてさらに浸透していきそうです。

